

社会福祉法人松花苑

中期ビジョン2023

(概要版)

I 中期ビジョン2023作成にあたって

○当法人は2012年度を起点として作成した中期計画に始まり、これまで2つの計画と1つのビジョンを作成してまいりました。

<これまでの経緯>

- －中期計画 期間 2012年度～
第三者評価受診の結果、中期計画の立案が求められていることを勘案し、5つの課題に整理をして作成。
- －松花苑中期ビジョン 期間 2014年度～2018年度
事業部門ごとに具体的に当時の状況を分析、課題を抽出し、計画を立案したもの。現在の事業運営の基本的な考え方となっています。
- －松花苑中期計画 期間 2018年度～2022年度
前期の中期ビジョンを基本とし、外部環境、内部環境を整理し、期間中の重点課題を
(1) サービスの質の向上
(2) 生活空間、活動空間の整備
(3) 人材の確保に向けた取組の強化
(4) 人材の定着・育成に向けた取組の強化
(5) 地域貢献活動の推進
(6) 内部管理体制の整備と構築
として、具体的な計画を設定いたしました。

○これまでの計画やビジョンを振り返ると、事業運営の柱として、職員に示すことが大切であるにもかかわらず、浸透できていなかった、進捗状況もわかりづらい、といった反省点が浮き彫りとなり、今回、中期計画を作成するにあたり、以下の点に留意しながら作成しています。

- －当法人の存在意義を再確認して、今後の方向性をわかりやすく示すこと
- －利用者のため、地域のため、職員のため、そして組織の強化という視点を継承すること
- －当法人がどのような運営を目指し、5年後にどのような事業を展開しているのか夢をもてること

○2023年度から始まる中期計画を「中期ビジョン」とし、期間は2023年度からの5年間、今後どのような法人運営をして、どのように社会に貢献していきたいのか、具体的に示し、共有していくことを念頭に作成しています。しかしながら、今般の新型コロナウイルスによる感染症の拡大や経済動向の変化にみられるように、私たちをとりまく環境の変化は時に予測のできないことがあるため、軌道修正が必要な場合もあります。その時は、職員とともに考え、見直していく柔軟性も必要であると考えています。

○障害者福祉を实践する私たちが、関係する人々の「願いをかなえる」存在であるために、中期ビジョンをここに示してまいります。

II 私たちの理念、事業内容

<理念>

私たちは、障害のある人が、人として、主体的に尊厳ある生活をおくり、その人らしく安心して暮らすことができるように、ライフステージにそって必要な支援を提供します。

さらに、障害のある人が、社会の一員として、当たり前前に生活をするができるように、必要な社会資源を整え、地域の理解を広げることに貢献していきます。

<事業内容>

	事業名	事業所名	主たる対象者	定員
障害者 支援施設	施設入所支援	みずのき	知的障害者	72名
	生活介護			80名
	施設入所支援	かしのき	知的障害者	40名
	生活介護			
障害福祉 サービス	生活介護	ワークスおーい	知的障害者	20名
	就労継続支援B型			20名
	短期入所 (ショートステイ)	みずのきショートステイ	知的障害者	4名
		かしのきショートステイ	知的障害者	4名
	共同生活援助 (グループホーム)	マイライフ松花苑ウエスト 楽庵 篠ホーム 雲仙台ホーム 並河ホーム 第2並河ホーム おばやしホーム いかい	知的障害者	28名
		マイライフ松花苑イースト 河原町ホーム はばたきの家 おばやしホーム にかい	知的障害者	15名
	居宅介護・重度訪問介 護・行動援護・同行援護	松花苑 ホームヘルプセンター	知的障害者 身体障害者 精神障害者 児童障害者	-
移動支援 事業	移動支援		-	
相談支援 事業	相談支援	松花苑生活支援センター	知的障害者 身体障害者 精神障害者 など	-
	雇用安定等事業	なんたん障害者		-
	障害者職業生活 自立支援員設置事業	就業・生活支援センター		-
地域生活 支援事業	日中一時支援	みずのき	知的障害者	-
		かしのき	知的障害者	-
公益事業	障害者を含む 文化・芸術促進事業	みずのき美術館		

Ⅲ 中期ビジョン 2023

願いをかなえる 松花苑

私たちは社会福祉事業や公益事業を通じ、松花苑にかかわるすべての人や地域の願いをかなえることのできる存在になることを目指します。

1. 利用者の願いをかなえる

一人ひとりの希望や願いを大切にし、自らが主体的に生きることを支えます

ビジョン1

ライフステージにそって、誰もが安心して暮らし、生き生きと働き、
活動することのできる場の創造

重点目標

- ①第2通所開設（定員40名）と既存の施設の有効的な活用を実現します。
- ②成人期前期から老齢期までの幅広い利用者それぞれに必要な支援を提供できる体制を整えます。
- ③障害の特性によらず、身体を動かすプログラムや日中活動を日課として構築し、発展させます。
- ④表現の自由や価値観の多様性が尊重されるアートの観点を、利用者の日中活動や日々の生活の中に取り入れ、暮らしの質の向上を目指します。

ビジョン2

押しつけの価値観ではなく、真にその人が望む生活へ向けての支援

重点目標

- ①どこで、だれと、どのように暮らしたいと思っているのか、を受け止め、可能な限りを尽くして、その人が望む暮らしを実現します。
- ②意思決定支援、権利擁護、障害者虐待防止等について職員の理解を深め、支援の質の向上を目指します。

ビジョン3

自閉症・行動障害のある人や高齢期を迎えた利用者に対応するための専門性の向上

重点目標

- ①拠点ごとに実践を積み重ね、法人内で検証する場を設けます。
- ②支援や介護に関するガイドラインを作成します。

2. 地域の願いをかなえる

障害のある人が安心して暮らせる地域づくりに貢献します

ビジョン1

障害のある人が地域で暮らし続けるために入所事業の機能とノウハウを活用

重点目標

- ①地域生活を継続するための必要な事業を拡充します（相談支援、ホームヘルプ）。
- ②地域にとっても必要とされる入所施設であり続けます。
- ③福祉避難所として、及び、その他の緊急避難・緊急対応としての生活場所の提供ができるよう、ハード・ソフトを整備します。

ビジョン2

地域資源や福祉専門職との連携・協働と質の向上への貢献

重点目標

- ①法人内研修の相互乗り入れの仕組みをつくり、他法人職員との交流が図られ、刺激をうけることで効果の高い研修を企画・開催します。

ビジョン3

文化芸術を一つの重要な社会活動ととらえ、福祉とアートの接点を模索

重点目標

- ①美術館では、公共財産・文化資源である所蔵作品や資料を良好な状態で保存し、調査研究に努めるとともに、展示公開や教育普及等を通じ、多様な価値観の創造を目指します。
- ②障害福祉を超えた広義のケアを実践・普及させるプロジェクトを行います。
- ③みずのきアトリエをはじめとする絵画活動を継続的に実施し、発展を目指します。

3. 職員の願いをかなえる

自身が成長でき、楽しみを見いだせる仕事、人を大切にする職場を目指します

ビジョン1

安心して働き続けられるよう、楽しみを見いだせる仕事、人を大切にする職場づくり

重点目標

- ① ICT・介護機器についての情報収集と研究を行い、機器の導入による介護負担軽減を図ります。
- ② ワークライフバランスを実現し、モチベーションの向上、職員の定着率向上、誰にとっても働きやすい職場を目指します。
- ③ 人を大切にする組織づくりと、職員自らが主体的に学び、想像・創造力を発揮できる職場を目指します。
- ④ 財源を確保しつつ処遇改善を実施し、職員の安定した給与の保障と待遇改善を図ります
- ⑤ 有休取得率 80%以上を目指します。

ビジョン2

これからの松花苑を支えていく人材の育成と役職への積極的な登用

重点目標

- ① キャリアパス・役割等級制度を運用し、職員個々のキャリア志向に応じた目標設定を行っていきます。
- ② 職員の経験値アップと組織活性化のための事業所間の人材交流を進めます。

4. これらをかなえるための組織・財務の安定化と必要な設備の整備を図ります

ビジョン1

さらなる内部管理体制の整備と充実を図り、信頼ある適切な事業経営

重点目標

- ①事業活動資金収支差額目標を収入の8%以上を目指し、必要な資金の積み立てを計画的に行います。かしのき拠点・みずのき拠点で毎年度各1千万円の積立を目指します。
- ②将来に向けた総務部体制を整備します。
- ③非常災害や感染症発生時に安全に事業を継続していくための計画、事業継続計画(BCP)[※]を策定し、必要な訓練を実施します。

ビジョン2

広報力を強化し、法人、仕事、職場の魅力を発信することによる安定的な人材の確保

重点目標

- ①求職者を惹きつける魅力ある就業体験プログラム等を整備し、SNSを活用した情報発信、就職フェア等への幅広い求人活動を実施します。
- ②多様な人材を確保し、その活用と活躍の場の提供を進めます（他業種からの転職、高齢者、子育て世代、外国人）。

ビジョン3

心地よい暮らしを守り、安心安全につながる修繕・リフォームの計画、実施

重点目標

- ①危険箇所、修繕箇所のチェックを行い、計画的な改修工事を実施します。

IV 中期ビジョン作成の経緯と今後について

○中期ビジョンの作成の経緯

理事長、理事、総務部長、施設長、部長、副施設長、美術館代表を中心とした当法人の幹部職員によるプロジェクトを結成し、以下の日程にて作成いたしました。

2022年	9月	15日	(木)	中期経営計画作成の経緯と目的について
	10月	26日	(水)	松花苑中期計画(2018年度～2022年度)結果について
	12月	1日	(木)	外部環境・内部環境の整理
	12月	27日	(火)	ビジョン構想
2023年	1月	17日	(火)	ビジョン検討
	2月	6日	(月)	ビジョンを具現化するための行動計画の構想
	2月	24日	(金)	ビジョンを具現化するための行動計画の検討
	3月	13日	(月)	ビジョンを具現化するための行動計画作成
	4月	13日	(木)	「中期ビジョン案」作成
	5月	2日	(火)	職員への意見募集(～15日)
	5月	17日	(水)	運営会議で最終検討
	6月	3日	(土)	理事会審議
	6月	18日	(日)	評議員会審議

○中期ビジョンの今後

毎年、進捗状況を振り返り、中期ビジョンに掲げる「願いをかなえる 松花苑」を基本として、年度の事業計画に達成目標と行動計画を明確にして実行し、その結果を検証して、次の年度の事業計画に反映して、作成してまいります。

